

# 陶磁器製造（絵付け）



まえだ せいじ  
前田 清次

昭和25年生  
伊万里市

十代の頃、鍋島焼の素晴らしさに触れ、修行の道に入り、平成6年に「清峰窯」を開業し、鍋島焼の代表的な絵付師とし、色鍋島の下絵付け技法の線描きや濃み（だみ）の技法の探求を続け多くの作品を制作している。

また、県内学校での絵付け指導、障がい者の就労支援、さらに県外でも陶芸教室を開催し、若年者の技能向上に積極的に寄与するとともに佐賀の陶磁器の魅力を発信し活躍している。